



稲毛 明 議員

自然エネルギー利活用の考え方は

質問 自然エネルギーが既に全国各地で活用されている。中でも今、多く取り上げられているのは、農業用水路を利用した小水力発電である。市では、小水力発電について、どのように検討されているのか伺う。

答弁 福島第一原発事故により、一層、自然エネルギーへの関心が高まっている。市としても阿賀用

水右岸土地改良区連合が管理する農業用水路延長120kmや山間部農業用水路の流速・落差を有効活用し、農業用施設、土改管理施設への電力供給によるクリーンエネルギー化と農家負担の軽減を図りたい。



消雪パイプ新設の計画は

質問 今冬の豪雪で市民生活に大きな支障が生じた。この現状から、消雪パイプ新設工事の復活を求め、声が強く寄せられた。新設にあたり、どのような規模と条件を検討しているか伺う。

副市長人事の構想を伺う。

答弁 就任後、極めて忙しく連日昼夜慌ただしかった。その中でも、鋭意、課題等の理解に努め各課職員からレクチャーも着々と進め、連携も良い方向で出来ている。

市民とも、公約通り要求を丁寧に聞き、出来るモノと出来ないモノを丁寧に説明し、納得頂くよう取り組みを進める。

縦割り行政は弊害と認識している、大小組織に置いて、解消・連携に強いリーダーシップが必要と思う。

副市長人事は、急がず当面は様子を見ていきたい。

地域活性化対策の取り組みについて

質問 市長の5つの基本政策の一つに、「地域経済の活性化」を唱え、「スポーツツーリズム」を推進したい、とある。数あるツーリズム施策はいずれも有効な活性化策と

討しているか伺う。
答弁 設置要望が提出されている90自治会の地域を精査し、優先度、緊急度が高く、整備効果の大きい地域を実施する計画である。

鳥獣害対策の向上を

質問 当市周辺におけるイノシシの実態を伺う。

答弁 昨年2月、折居の林道脇水田、今年1月、山寺の柿畑で1頭と村杉林道で2頭、3月には折居の山中で1頭の目撃と3頭の足跡、旧ロシア村周辺と村杉どんぐりの森で各2頭の足跡の確認。今ところ農作物被害と捕獲は無い状況である。

質問 クマ、イノシシの肉からのセシウム検出について伺う。

答弁 昨年クマの出没がほとんどなく捕獲はなく、イノシシについても、今ところ捕獲されていないため、検査データはない。

思う。

『グリーンツーリズム』については、阿賀野市にとって絶好のロケーションであり、もっと積極的に取り組むべき施策でなかったのではないかと。

立ち後れたと思うが、市のリーダーのもと、関係機関・市民（農家・議会）を含め、一体となった推進をすべきと思うが、見解を伺う。

答弁 確かに、他自治体と比べ当市の取り組みは立ち後れている事を認める。

当市が持つ自然や温泉・地域資源を最大限活用し、『ヘルスツーリズム』『エコツーリズム』選挙で掲げた『スポーツツーリズム』と併せ、本年度中の庁内各課を連携させ、各機関・農家とネットワーク化を図り、強力な推進に努めていきたい。



村上 清彦 議員

命を守る防災教育の実施を！

質問 津波防災教育に取り組んだ釜石市で、大震災の発生時に学校の管理下にあった小中学生が全員、津波から逃げ延びた事例が「釜石の奇跡」として全国から注目された。文科省では今年度、逃げることを基本とする防災教育を推進するが、家庭・地域を巻き込んだ取り組みを検討してはどうか。

答弁 防災体制の再構築の一環と

して積極的に取り組んでいきたい。平時から家庭・地域と学校との緊密な連携が必要であり、今後、防災関係機関の協力・助言も得て、体制の整備、防災教育の実施に努めていく。

非構造部材の耐震化を！

質問 東日本大震災では、天井や照明器具など非構造部材が落下する被害が発生した。学校の耐震化は進められているが、非構造部材の耐震点検の実施をしているのか。

答弁 校舎も含めた施設全体の非構造部材の耐震点検は実施していない。今後、専門家による点検及び対策工事の実施を含め協議していきたい。

救急医療情報キットの配布を！

質問 個人情報と医療情報を記入

件である。

市長の考えを伺う。

答弁 市民の声がされる「対話と共感」を市政の基本とし、市民目線に立ち、公平でわかりやすい、市民と協働で力強くまちづくりを進める。

具体的には
①対話を進めるため「市民パフォーミング」を開催。
②行政を知ってもらうため「市政出前講座」開催。
③自治会等のコミュニティ団体やボランティア団体、NPOなどの自主活動支援。
④市役所の組織を再編を進める。

行政参加の環境づくりが喫緊の課題ではないか

質問 市民と共にみんなで力を合わせ、協働のまちづくりをスローガンに当選された。その実現には、市民の自治意識を高めることや参加しやすい体制をつくる行政のシステム転換も必要と考える。

市民自らがすべての公共問題を自分のこととし、知恵を出し合い力を合わせ行政に参加しようとする市民パワーの高まりも大切な条



福住つゆ子 議員



した用紙と、本人写真、保険証や診察券のコピーをプラスチックケースに入れ冷蔵庫に保管し、緊急事態が発生した場合に情報が容易に入手でき、迅速な救急医療の提供につながるもの。以前にも質問したが、協議の進捗を伺う。

答弁 県事業での実施要望を予定しており、承認が得られたら年度内の補正予算で対応する。